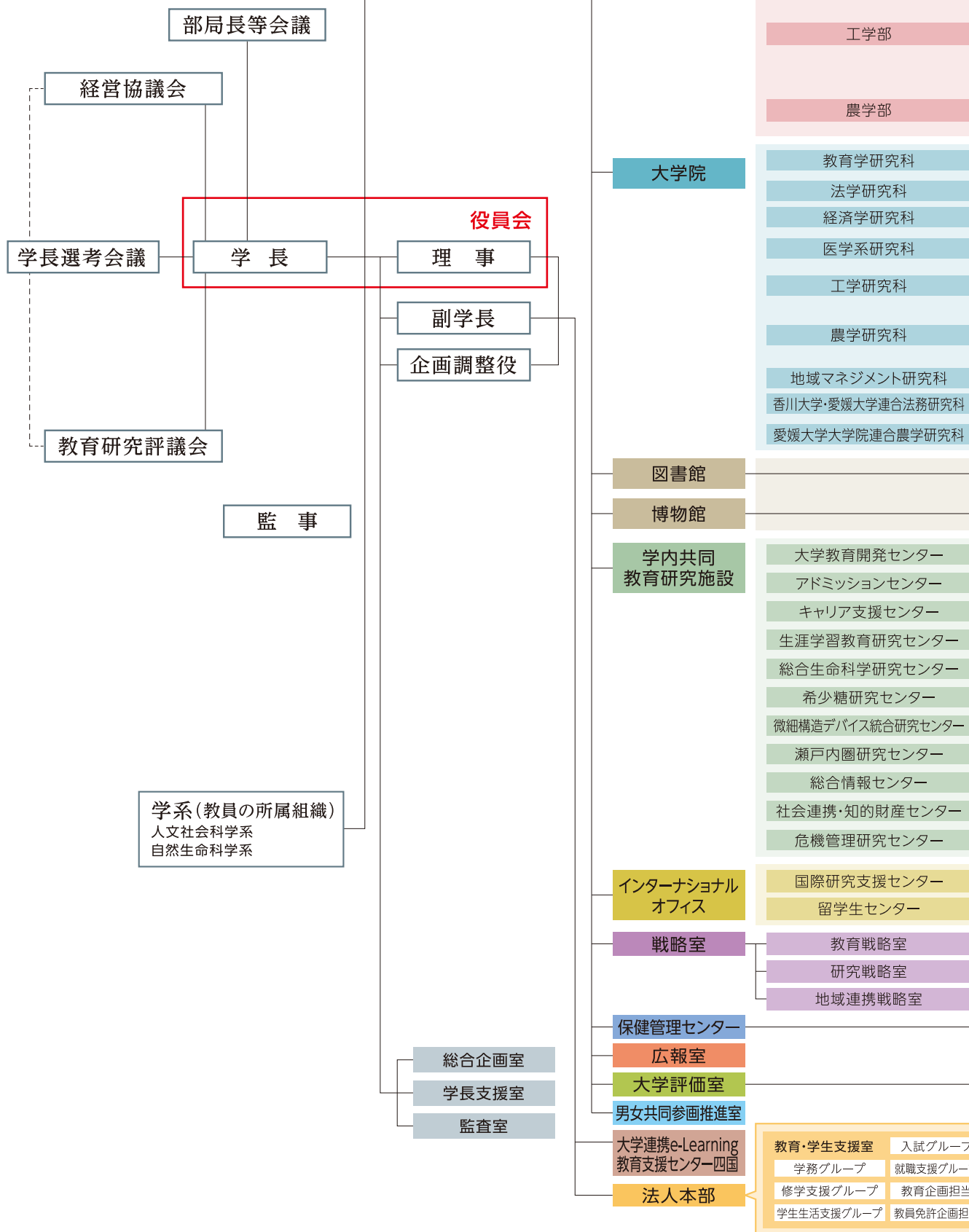
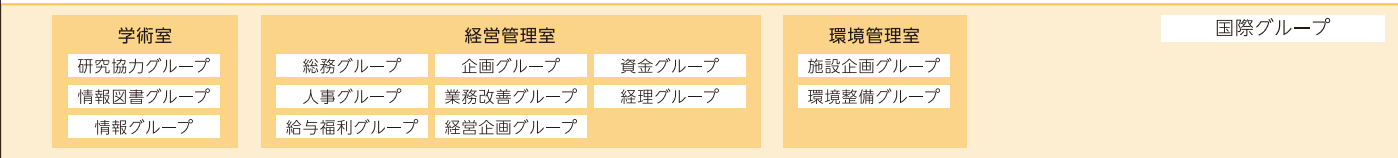
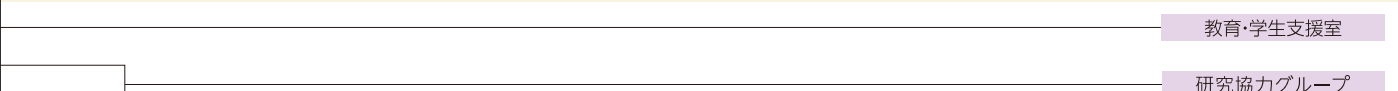
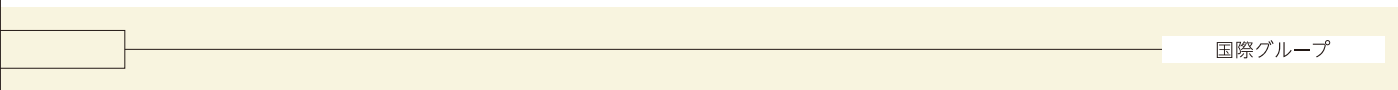
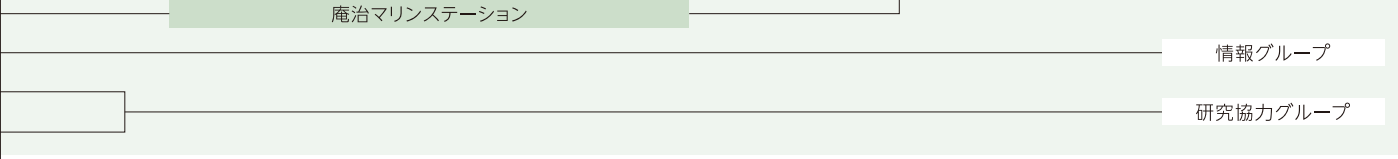
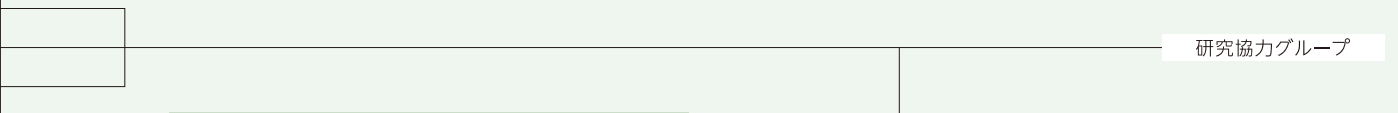
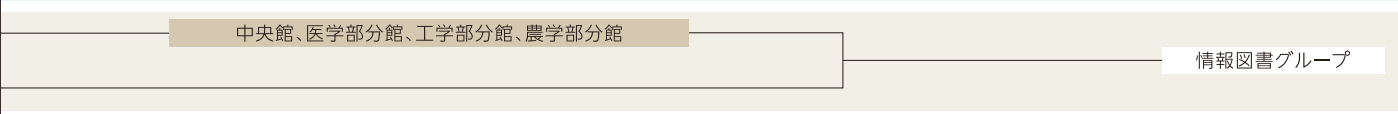
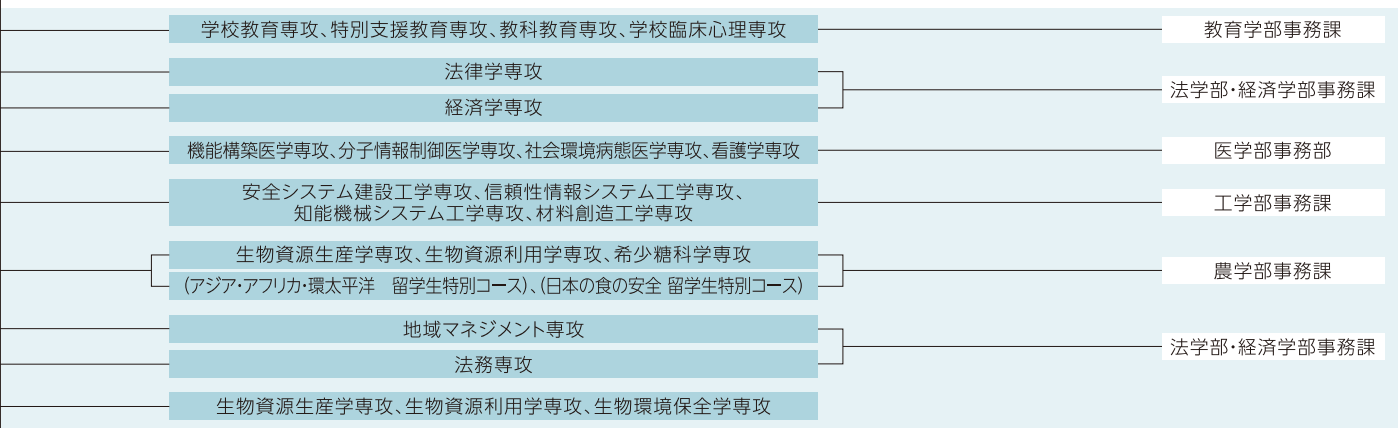
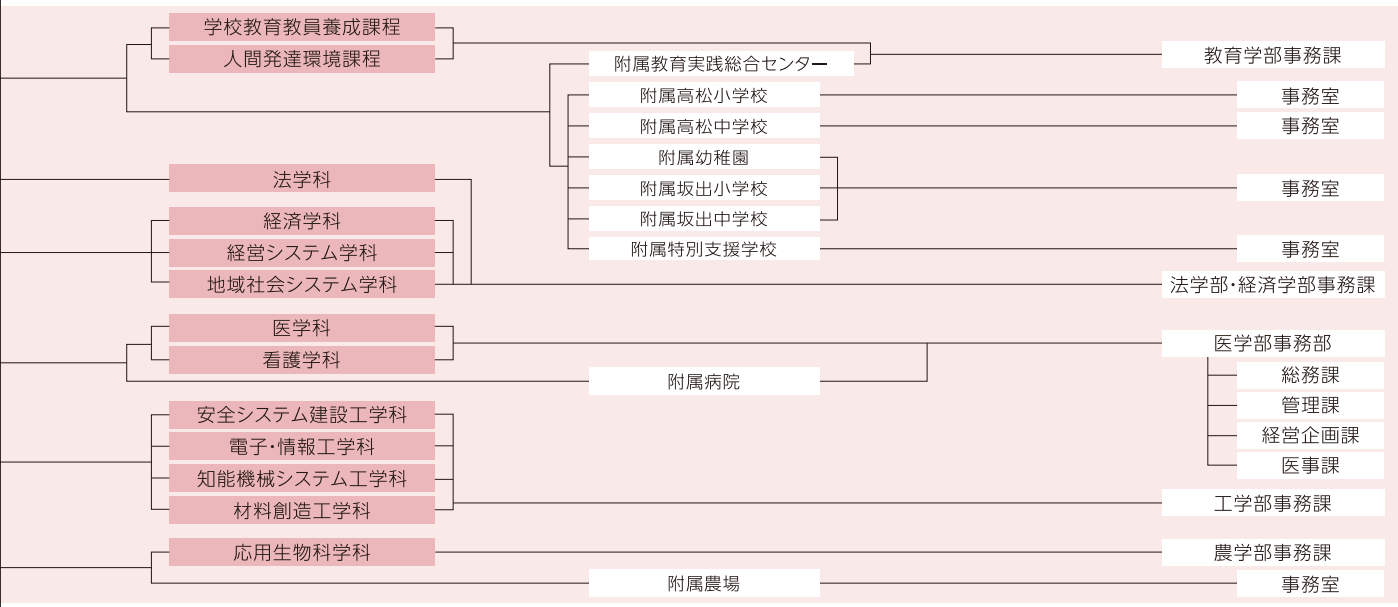


# 組織図





# 役員

平成26年4月現在

## 役員・副学長

学長 ————— 長尾 省吾  
 理事・副学長(教育担当) ————— 藤井 宏史  
 理事・副学長(研究担当) ————— 早川 茂  
 理事・副学長(総務・企画担当) ————— 平下 文康  
 理事・副学長(労務担当) ————— 高木 健一郎  
 監事 ————— 小川 保正  
 監事(非常勤) ————— 大西 均

副学長(評価・特命担当) ————— 上杉 正幸  
 副学長(国際戦略・地域連携担当) ————— 板野 俊文  
 副学長(情報担当) ————— 笥 善行  
 副学長(医療担当) ————— 横見瀬 裕保  
 副学長(財務・経営・施設担当) ————— 永井 義美

## 学長特別補佐

上田 夏生、葛城 浩一、小宮 一高、徳田 雅明、垂水 浩幸、  
 板倉 宏昭、三野 靖、林 敏浩

## 学長特別顧問

木村 好次

## 学長補佐

伊賀 三千廣

## 経営協議会委員

学長 ————— 長尾 省吾  
 理事・副学長(教育担当) ————— 藤井 宏史  
 理事・副学長(研究担当) ————— 早川 茂  
 理事・副学長(総務・企画担当) ————— 平下 文康  
 理事・副学長(労務担当) ————— 高木 健一郎  
 東京大学名誉教授 ————— 天野 郁夫

日本銀行国際局参事役 ————— 清水 季子  
 東京工業大学名誉教授 ————— 末松 安晴  
 (株)百十四銀行取締役会長 ————— 竹崎 克彦  
 (独)国立青少年教育振興機構理事長 ————— 田中 壮一郎  
 香川県副知事 ————— 天雲 俊夫  
 四国電力(株)取締役会長 ————— 常盤 百樹

## 教育研究評議会委員

学長 ————— 長尾 省吾  
 理事・副学長(教育担当) ————— 藤井 宏史  
 理事・副学長(研究担当) ————— 早川 茂  
 理事・副学長(総務・企画担当) ————— 平下 文康  
 理事・副学長(労務担当) ————— 高木 健一郎  
 副学長(評価・特命担当) ————— 上杉 正幸  
 副学長(国際戦略・地域連携担当) ————— 板野 俊文  
 副学長(情報担当) ————— 笥 善行  
 副学長(医療担当) ————— 横見瀬 裕保  
 副学長(財務・経営・施設担当) ————— 永井 義美  
 人文社会科学系長 ————— 山神 眞一  
 自然生命科学系長 ————— 中西 俊介  
 教育学部長 ————— 山神 眞一

法学部長 ————— 山本 陽一  
 経済学部長 ————— 大野 拓行  
 医学部長 ————— 今井田 克己  
 工学部長 ————— 中西 俊介  
 農学部長 ————— 片岡 郁雄  
 地域マネジメント研究科長 ————— 板倉 宏昭  
 香川大学・愛媛大学連合法務研究科長 ————— 柴田 潤子  
 教育学部教授 ————— 加野 芳正  
 法学部教授 ————— 松尾 邦之  
 経済学部教授 ————— 佐藤 忍  
 医学部教授 ————— 上田 夏生  
 工学部教授 ————— 垂水 浩幸  
 農学部教授 ————— 岡崎 勝一郎

## 教育学部

学部長 ————— 山神 眞一  
 附属教育実践総合センター長 ————— 七條 正典  
 附属高松小学校長 ————— 小川 育子  
 附属坂出小学校長 ————— 松村 雅文

附属高松中学校長 ————— 櫻井 佳樹  
 附属坂出中学校長 ————— 伊藤 裕康  
 附属特別支援学校長 ————— 武蔵 博文  
 附属幼稚園長 ————— 松村 雅文

## 法学部

学部長 ————— 山本 陽一

## 経済学部

学部長 ————— 大野 拓行

## 医学部

学部長 ————— 今井田 克己  
 附属病院長 ————— 横見瀬 裕保  
 医学部事務部長 ————— 田辺 勇

## 工学部

学部長 ————— 中西 俊介

## 農学部

学部長 ————— 片岡 郁雄  
 附属農場長 ————— 望岡 亮介

## 学内共同教育研究施設

大学教育開発センター長 ————— 藤井 宏史  
 アドミッションセンター長 ————— 藤井 宏史  
 キャリア支援センター長 ————— 藤井 宏史  
 生涯学習教育研究センター長 ————— 清國 祐二  
 総合生命科学研究センター長 ————— 神鳥 成弘  
 希少糖研究センター長 ————— 徳田 雅明  
 微細構造デバイス統合研究センター長 ————— 高尾 英邦  
 瀬戸内圏研究センター長 ————— 多田 邦尚  
 総合情報センター長 ————— 最所 圭三  
 社会連携・知的財産センター長 ————— 合谷 祥一  
 危機管理研究センター長 ————— 白木 渡

## 戦略室

教育戦略室長 ————— 藤井 宏史  
 研究戦略室長 ————— 早川 茂  
 地域連携戦略室長 ————— 板野 俊文

## 保健管理センター

所長 ————— 鎌野 寛

## 広報室

室長 ————— 平下 文康

## 大学評価室

室長 ————— 上杉 正幸

## 地域マネジメント研究科

研究科長 ————— 板倉 宏昭

## 香川大学・愛媛大学連合法務研究科

研究科長 ————— 柴田 潤子

## 学系(教員所属組織)

人文社会科学系長 ————— 山神 眞一  
 自然生命科学系長 ————— 中西 俊介

## 図書館

図書館長 ————— 笥 善行  
 医学部分館長 ————— 河野 雅和  
 工学部分館長 ————— 松島 学  
 農学部分館長 ————— 片山 健至

## 博物館

博物館長 ————— 寺林 優

## インターナショナルオフィス

オフィス長 ————— 板野 俊文  
 留学生センター長 ————— ロン リム

## 男女共同参画推進室

室長 ————— 早川 茂

## 大学連携e-Learning教育支援センター四国

センター長 ————— 林 敏浩

## 法人本部

企画調整役(兼 財務部長) ————— 永井 義美  
 教育・学生支援部長 ————— 枝川 幸司  
 学術部長 ————— 西川 暢一  
 総務部長 ————— 後藤 文郎  
 環境部長 ————— 堀 清隆

# 香川大学の取り組み

## 自治体連携による瀬戸内地域の活性化と地(知)の拠点整備

地(知)の拠点整備事業：Center of Community (COC)

香川大学のCOC事業では、人口減少や高齢化がすすむなか、香川県や各自治体が推進する課題解決のためのミッション(定住促進、観光振興、商店街振興、離島振興、コミュニティ活性化など)に自治体と連携しながら取り組みます。本事業では、学生による地域実践活動、学生の視点を活かした地域活性化策の提案を積極的に展開します。また、自治体連携プロジェクトを通じた地域志向の人材育成のためのカリキュラム整備をすすめます。

※地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)は、文部科学省の大学教育推進事業のひとつです。自治体と連携し、全学的に地域を志向した教育・研究・地域貢献を進める大学等を支援することで、課題解決に資する様々な人材や情報・技術が集まる地域コミュニティの中核的存在としての大学の機能強化を図ることを目的としています。



## 香川大学で生まれた夢の糖“希少糖”



### 希少糖研究の推進

香川大学が世界で初めて大量生産技術を確立し、事業化が加速した希少糖。特に、生活習慣病の予防や改善に効果があるとされるD-ブシコースは、関連商品が数多く発売されて話題となっています。平成25年度には、香川県と希少糖研究に関する協定を締結し、寄付講座が設置されました。香川県との連携により、希少糖関連分野の研究を加速・拡大させ、国際的希少糖研究拠点の形成を目指します。

## 海外留学を大学がサポート

ネクストプログラム(グローバル人材育成プログラム)

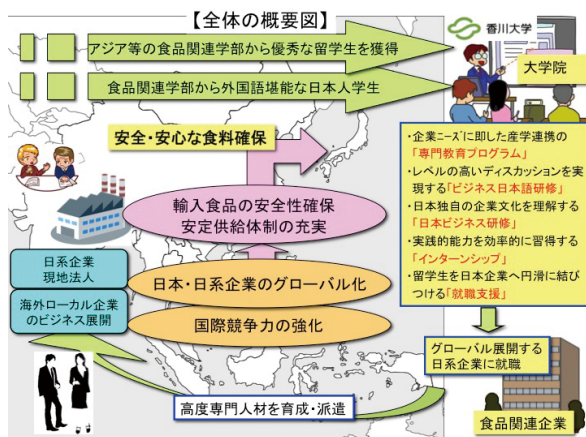
ネクストプログラムは、学生が所属する学部での学習(学位プログラム)に加え、学部の枠を超えて、主体的に学習する自由参加型の特別教育プログラムとして平成25年度にスタートしました。そのうちのひとつであるグローバル人材育成プログラム(英語コース)(中国語コース)は、国際的に通用する語学力を身につけるとともに、国際的視野に立った専門知識や技能を深めることにより、グローバル化の進む地域社会の課題解決に貢献できる人材を育成することを目指します。語学力向上のためにプログラム関連授業科目の受講、ネイティブスピーカーとの対話レッスン、インターネットシステムを利用した自主学習を行い、一定の語学レベルに達した学生は1年間の海外留学経験を積みます。留学にあたっては、大学が奨学金等により支援を行います。



## グローバルに活躍できる食の安全スペシャリストを養成

国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラム採択

農学研究科の「日本の食の安全 高度人材育成 留学生 特別プログラム」が「国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラム」に採択されました。本プログラムでは、「日本の食の安全」確保の観点から、交流のある東南アジア等の大学から優秀な学生を選抜し、コンソーシアム企業と共同で食の安全に必要な能力を体系的・実践的に身につけさせ、日本語能力や日本文化を正しく理解した優秀な国際人、かつ経営感覚を身につけた企業幹部となりうる人材を育成します。修了後は、海外に展開する日系企業に就職し、将来、日本と海外事業所との架け橋となる人材育成を目標とします。事業期間は平成26年10月から5年間。



## 集い、憩い、そして学ぶ。 新しい交流スペースが誕生

図書館、大学会館のリニューアルと  
OLIVE SQUAREのオープン

平成26年5月、学生・教員の交流による活性化及びグローバル化に対応した人材育成等を支援するため、多目的ホール、教員交流ラウンジ、学習ラウンジ、イングリッシュカフェを備えた施設がオープンし、OLIVE SQUAREと名付けられました。

図書館には、PCを利用したレポート作成や少人数によるディスカッション等に利用できるスペースとしてラーニング・コモンズを設置、さらにグループワークエリアを設けるなど、従来よりも学生同士が交流し、主体的に学ぶことができるスペースを整備しました。また、大学会館には学生からの要望が多かったカフェテリアを新設しました。



## 地域の医療拠点を目指し、再開発整備

医学部附属病院新病棟オープン

平成25年に開院30周年を迎えた医学部附属病院は、さらなる機能向上を目指し、再開発整備を行っています。その第一段として平成26年夏に南病棟が稼働を開始。救命救急センターや心臓血管センター、集中治療部などの医療機能を充実させるほか、災害拠点病院として、地域の中核を担うため防災機能の充実・強化を図ります。

